十勝シーニックバイウェイ

南十勝夢街道

～夢を育む海と大地と清流のみち～

事業の取り組みと活動紹介

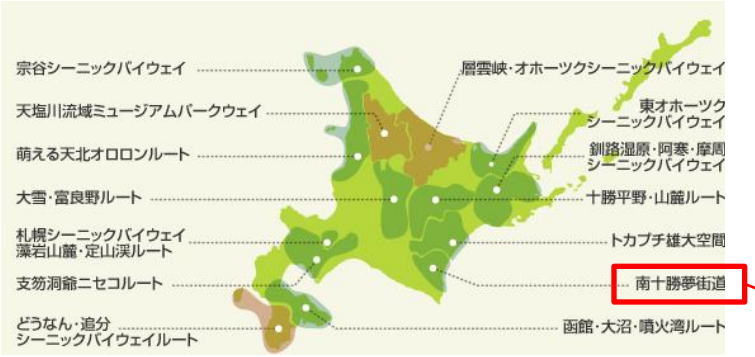
「シーニックカフェちゅうるい」からの眺め

「南十勝夢街道」　ルートの概要

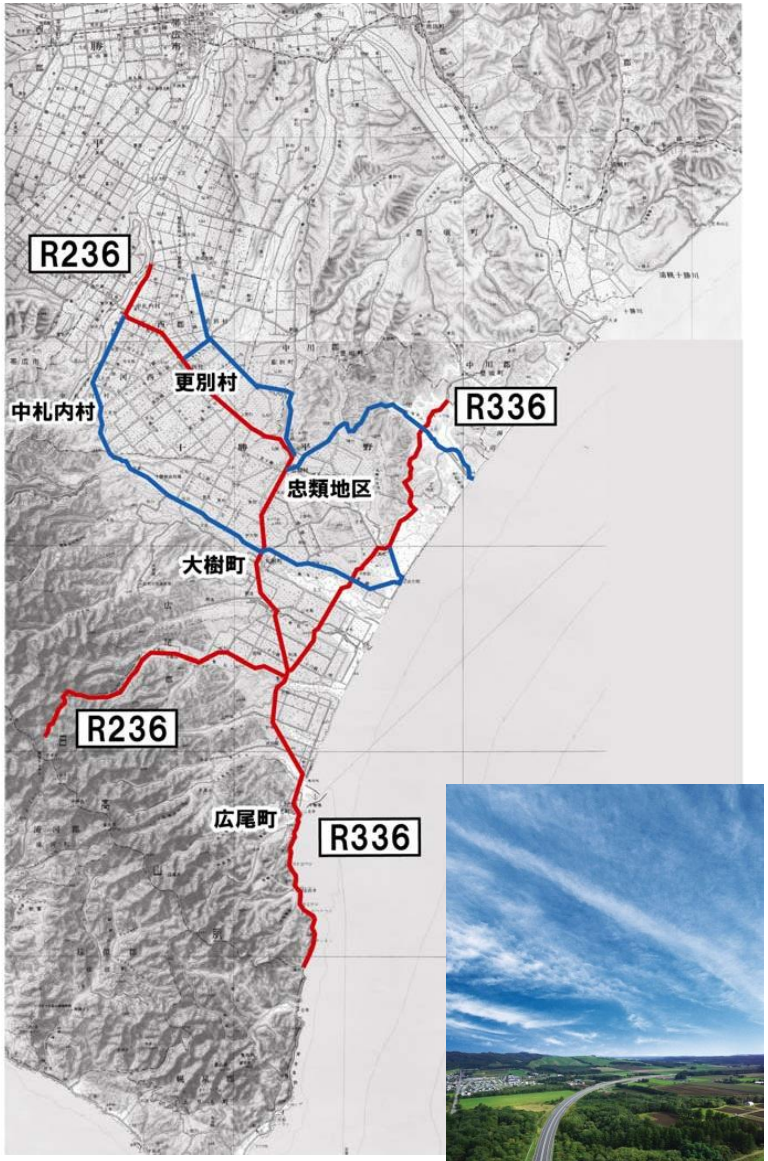
十勝の南部に位置する中札内村、更別村、幕別町忠類地区、大樹町、広尾町の3町2村を巡り、国道236号、336 号および周辺の道道、町道をエリアとします。

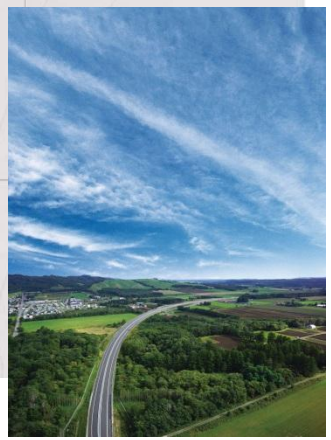
国道236 号は、十勝平野の南へ延び、畑作地帯を通りながら日高山脈を遠望しながら走り、十勝の最南端へは336 号を進みます。

日高山脈がどんどんと近くなり、山が海へと入り込む辺りからは海沿いに太平洋の眺めが広がり、日高山脈に並行して走る山沿いのルートです。



十勝南部





◆関係市町村（3町2村）

中札内村、更別村、幕別町、忠類地区、

大樹町、広尾町

◆関係する主な道路

国道236号、国道336号、 周辺の道道・町村道等

「南十勝夢街道」　ルートの資源

南十勝夢街道には、以下の６つの象徴的な景観資源があります。

■日高山脈、■広大な畑作、酪農景観と耕地防風林、■清流、■冬の彩り・霧氷・樹氷、■海、■食

「南十勝夢街道」　ルートのテーマ

○ルートのテーマ

夢を育む海と大地と清流のみち

　南十勝夢街道は、北海道一の面積を誇る十勝平野を、太平洋目指してひたすら南下するルートです。

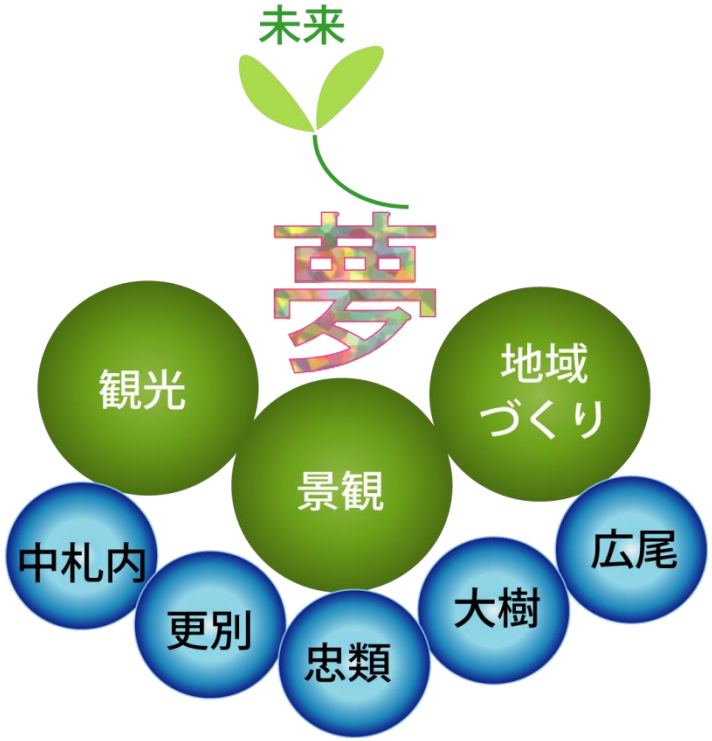
　広大な平野を突き抜け、北海道を東西に分ける脊梁・日高山脈に向かって、そこに源を発する清流をいくつも渡りながら進むと、そこは南十勝。

　中札内村、更別村、幕別町忠類、大樹町と日高の山並みが次第に大きくなって眼前に迫るころ、太平洋に面する港町、広尾に達するルートです。

ルートの理念

＜観光・景観・地域づくりで未来へ繋がる夢を育む＞

未来へ繋がる夢を育むため、南十勝夢街道は、「観光」「景観」「地域」の３つを柱に、
活動に取り組んでいきます。



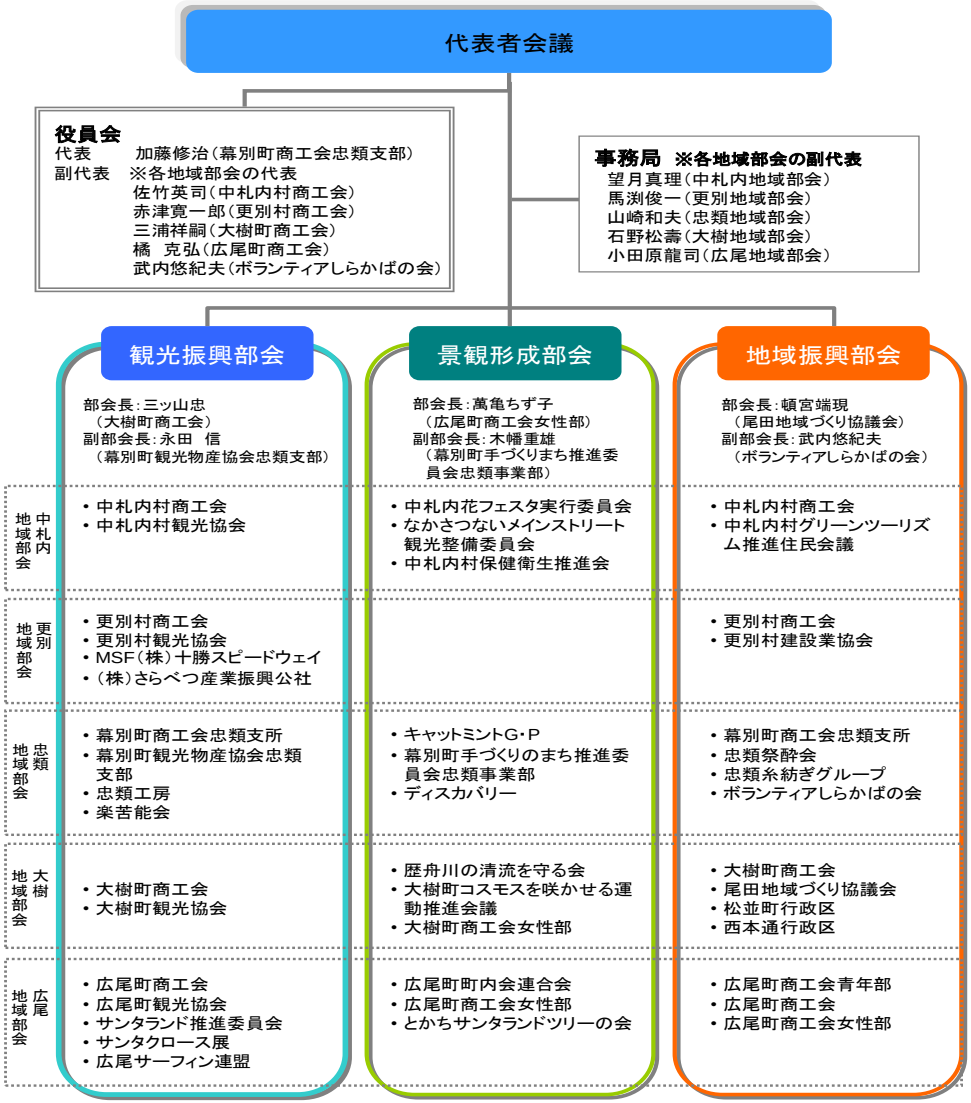
それぞれの地域がボランティア活動を取り入れながら連携を深め、地域経済の確立を目指し南十勝の地域性を活かした景観と食と観光の創出を行なって行きます。

南十勝夢街道ルート運営の体制

南十勝夢街道は、３７団体から構成。

３つの部会と５つの地域を設けています。

- 観光振興部会
- 景観形成部会
- 地域振興部会



南十勝夢街道ルート運営の体制

◆南十勝夢街道の主な取り組み

・花壇整備・植栽活動・清掃活動

・地域資源の発掘（資源調査バスツアー）

・景観の保全・改善

・地域のことを知ってもらおう～南十勝夢街道ＰＲ活動～

・シーニックカフェちゅうるい

・南十勝夢街道フォトコンテストの実施

・学校シーニックバイウェイ

～立ち寄ってもらおう～
シーニックカフェちゅうるい

参　考

地域資源の発掘・コミュニティビジネス

　忠類共栄牧場から望む景色を楽しみながらコーヒーや牛乳を味わってもらうため、平成18年度からシーニックカフェちゅうるいを実施。今年度で10周年を迎える活動で、コミュニティビジネスへの展開も模索している。

　ウッドデッキの整備、十勝平野・山麓ルートの「シーニックカフェ士幌高原ヌプカの里」と連携してスタンプラリーなどを実施、本年は何とか臨時的に電源を確保し丘の上のコンサート等の音楽会を５回実施するなどカフェの魅力向上に努めた

◆実施期間　毎年7月～9月　土曜日・日曜日・祝日
◆内　　容　コーヒーの無料提供、手作りアルプホルンの演奏体験　など

シーニックカフェの様子

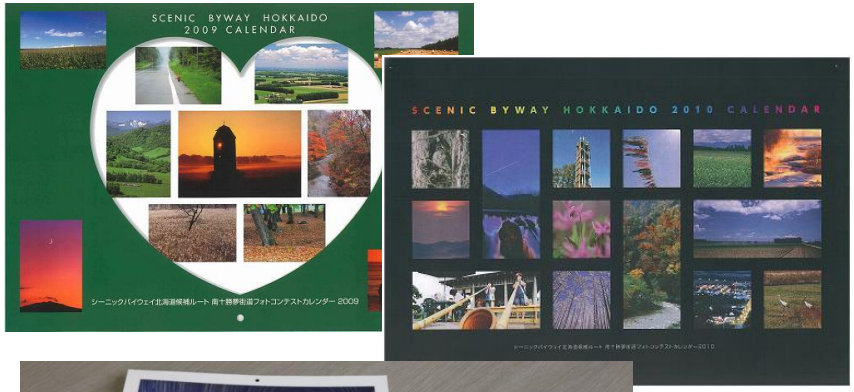
丘の上のコンサート

シーニックカフェイベントチラシ

参　考

カレンダー製作販売

- フォトコン入賞作品をメインに、エリアの四季折々の
- 写真を掲載したカレンダーを製作販売
- 製作部数　１５００部
- 販売価格　一部　５００円
- エリア全体で販促を行い、ルート景観の紹介とルート
- 活動資金の確保を図る。



←2017年度
カレンダー

学校シーニックバイウェイの取組みについて

学校シーニックバイウェイ

○学校ＳＢＷの定義

「ルートのメンバーが学校授業等の中で、子ども達へＳＢＷの思想を伝えながら、おもてなしの心を養うための諸活動」

（ルート内での定義）

学校シーニックバイウェイ

○学校ＳＢＷの進め方

（Plan）

①計画・準備

・関係機関との調整
・授業用ＰＰＴ作成
・授業用白地図作成

（Do）

②実施

・ＳＢＷ思想の共有（授業）
・子どもマップデータの共有
・子どもマップの作成
・おもてなし活動の体感

（Check）

③効果把握

・アンケート等実施
・学校ＳＢＷの評価

（Action）

④フィードバック

・効果課題の共有
・今後の展開共有

学校シーニックバイウェイ

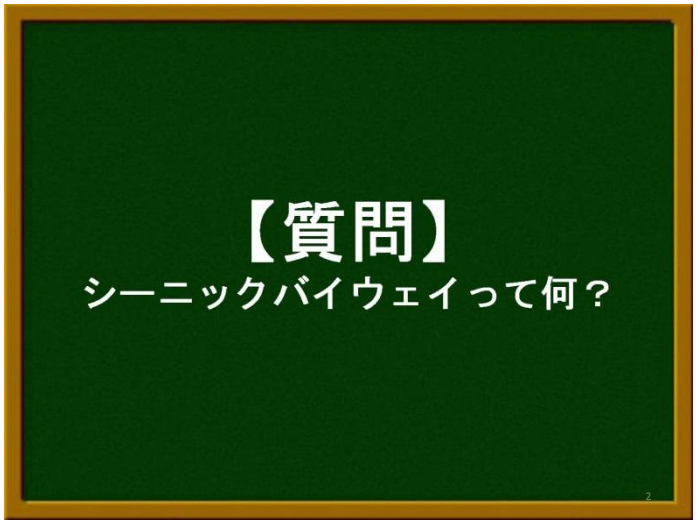
①計画・準備　～関係機関との調整

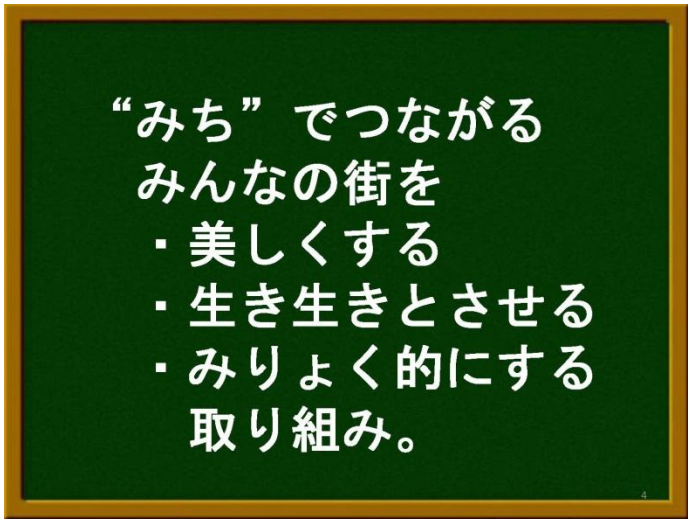
・学校や教育委員会との打ち合わせ
（実施目的、効果、授業内容の説明）

・学校スケジュールを考慮
（年間計画決定前が望ましい）

学校シーニックバイウェイ

①計画・準備　～授業用ＰＰＴ作成





学校シーニックバイウェイ

【質問】
何をするの？

〇美しくする
↓
・清掃する
・花を植える

〇生き生きとさせる
↓
・遊ぶ
・楽しむ
・学ぶ

〇みりょく的にする
↓
・イベントを行う
・情報を発信する

学校シーニックバイウェイ

【質問】
なぜ、シーニックするの？

訪れる人から、
「忠類ってステキな街」
「また、来るね」と言われたら、うれしいね。

学校シーニックバイウェイ

①計画・準備　～授業用白地図作成

道路や河川、地域の主要建物を表示

実際の地図をトレースし、地図上の距離を正確に表現した

学校シーニックバイウェイ

②実施　～ＳＢＷ思想の共有

授業でＳＢＷの思想を伝える

【授業実施状況】

子どもが地域のおすすめ情報を考える

学校シーニックバイウェイ

②実施　～たんけん夢マップデータの共有

みんなで意見を出し合い、マップに仮落とし

【マップデータの共有】

学校シーニックバイウェイ

②実施　～たんけん夢マップの作成

学校シーニックバイウェイ

②実施　～おもてなし活動の体感

・モニターツアーの実施（道央圏の11組29人の親子が参加）

航空宇宙公園（JAXA）見学(大樹町)

キャンドル作り(広尾町)

ロビーコンサート(幕別町忠類)

搾乳体験(幕別町忠類)

学校シーニックバイウェイ

③効果把握　～学校ＳＢＷの評価

・モニターツアーでの高い満足度

アンケート結果から参加者の高い満足度が確認できた。
また、大人から再度十勝を訪れたいとの意見が多数あり、大人に対しても魅力的であることが確認できた。

・他ルートからの高い評価

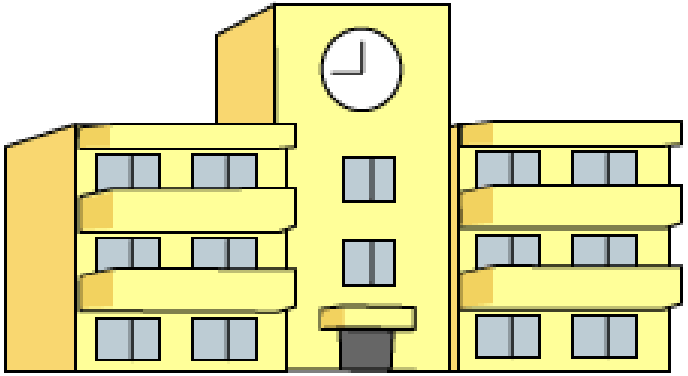
活動の一層の推進のため、子どもを活動に取り入れるという視点を評価

シーニックバイウェイ北海道全道フォーラム２０１１で発表

④フィードバック　～課題や今後の展開を共有

・学校との課題や今後の展開の共有

学校へ学校ＳＢＷ実施状況と課題を報告し、今後の展開を共有した。
　課題：マップの作成には時間と費用がかかること
　展開：忠類地区だけでなく、他地域にも広げること



学校シーニックバイウェイ

○学校ＳＢＷ　取り組み方のポイント
・学校等の理解を得ること
・子どもに楽しい活動だと認識させること

○学校ＳＢＷ　継続性のポイント
・上記取り組み方のポイントを踏まえ、学校関係者と連携して、毎年授業を行うこと

学校シーニックバイウェイ

○学校ＳＢＷ　今後の課題・展開

・取り組みの拡大

・マップ作成予算の確保

ご静聴ありがとうございました

地域の子どもたちは何気なく
こんな素敵な景観を見ています

春

耕す頃　中札内村

大樹の春　大樹町

雄大な日高山脈　忠類

夏

初夏　更別村

乱舞　広尾町

ストレート　中札内村

秋

晩秋の輝き　中札内村

穏やかな晩秋　忠類

雄姿
忠類

冬

冬の到来　広尾町

霧氷　更別村

サンタランドの夜　広尾町